（郵便局認可）

（日曜日休刊）（定價金二錢）

時事新報

時事新報定價
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送致スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月ニ付二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一箇限	二日以上 六日迄	七日以上 十五日迄	十六日以上
自一行至十行	錢八	錢七	錢六	錢五
自十一行至卅行	錢七	錢六	錢五	錢四
三十一行以上	錢六	錢五	錢四	錢三

第千五百三十七號
明治二十年三月十六日 水曜日
舊丁亥二月廿二日（庚辰）
（西暦一千八百八十七年）

山陽午前六時十二分
日出午後六時零七分
月入午前零時十二分
滿潮午前十時十四分
干潮午後十時十四分

時事新報

工藝商業の學問漸く將さに流行を成さんとす

日本人が西洋の文明と知りしい醫學の門に由れり蓋し德川幕府專制の政を布くの日に當り人民の外國と往來交通することを嚴禁ぜ日本の外に世界はおきものありと信せしめて處世の運命に觀念せしめ以て全國の治平國民の悲順と買ひたるがゆえに當時日本國民として世界を知るの工風おかゞしといへども獨り醫學は軍國政敵の事に關係なく王公庶民と論せず人命を救ふの仁術たるに止まるものおれば之て幸ひに執權者の猜忌を免かれ唯醫學上のものれゝに限り日本人にして和蘭船來の書籍と公然讀讀することを許されたり是則ち日本人が文明ゑ入るの端緒にして當時醫師社會の外に西洋を知る者とて絶えてなかゞしなり嘉永の開國に續いて德川の政府倒れ王政維新後進の士天下の政務に當り大に外國の交際を勉むるゑ及んで有川の人才い醫師社會の外に求むべからず軍事と雷する醫師あり法律を制定執行するの醫師あり外交を司どるの醫師あり學事と監するの醫師あり開明の政務一として醫師の與かり知らざるものおきの有樣おりし斯る有樣おりしがゆゑゑ其自然の影響として文明百科の學業の中に就て醫學獨り日本人に偏愛偏重せられ病院醫學校の事い政務の第一に位し中央政府の在る所い勿論各府各縣皆相競て病院醫學校を起し之を起さゞる者い文明の何物たるを解せざる者と自かゞ信ぜ又人に評せらるゝ程の勢を成しけるにゞ時勢に走るい人情の常にして後進の書生輩も相競て醫學校の門に集り三五年の勉學直ちに世に出ゞゝ一家を起さゞる者おく志士立身の道い唯醫書を讀ひに在りと云ふべき有樣なりし然るに時勢一變して政治法律憲法國會政黨おとの事漸く世人の注意を促し法律制度を改め國會と開き政黨を組織すべし抔云ふに至りて政治法律の聲のみ獨り國內ゑ喧しく後進の書生書を講するに政治法律の外を知らず一たび政治法律の課程を卒はれば直ちに學校を出でゝ高等の官吏たるべく有名の代言人たるべく其榮譽利益決して尋常ならず榮譽利益い人の欲する所にしてみれを得るの方便を見出すゑと甚ざ難し然るに今法律と聽し政治と談すれば榮譽利益自から其中ゑ在りと周知ゑたる以上は人情爭かでこれに奔らざるを得んや政治法律の事忽ち全國の風潮を成し遂に鄕村戶長役場の机上ゑ各國憲法の翻譯書を閲め巡査合宿所の二階に佛國法律の討論會を聞くに至ゞたり然れども人間世界い元と政治法律のみを以て成立たるものにあらざるがゆゑに世人漸く政治法律のみを談して他事を顧みざるの非を悟り或い政治社會の衰潮おらざる天下無數の政治法律學者と收めて悉くこれに好地位を授くるの餘暇なきを示すに至りて政治法律の熱も愛に初めて冷却の兆を現はし學を勉むる者必すしも政治法律を云はざるゑと～おれり此際に當ゞり人心亦漸く殖產興業の事に向ひ或い養蠶製糸の事或い織物染物の事鑛山の事鐵道の事築港の事造船の事家屋建築の事外國貿易の事製造會社の事おと大に力を用ひて大に利を收むべきの事柄少おからず各地陳願其計畫實行を見るゑ至りて忽ち當事の人に乏しきを告ゞ資本既に集まれども未ざ其事を成すの人を得ず百方に手を分ちてこれを求むるが爲めに從來身ゑ工藝商業上の學識實驗を有する者は俄かに勢を得て世に時めき政府に民間ゑ其登用待遇の優渥特殊おる、人をして驚歎羨羨の念に堪えざゞしむるものあるゑ至りたり而して開化文明の時勢に適する工藝家商業家い日本國中目下尙ゞ甚ざ其人に乏しく又俄かにこれを造ん造り得ざるものおるがゆゑに此等工藝家商業家の身に伴ふ榮譽利益は今日以後必ず更ふに一層の厚きを加へ隨て全國後進生の氣風を一變して相競て工商の門に集まらざむるゑとあるべし供給漸く需用ゑ超過すれば漸く其價を減ずるゑと自然の法則なるがゆゑに工商社會の景況後來必ず多少の變化と見るべきい勿論おりといへども凡そ工商業者の力を施すの區域いおれを彼の醫學或い政治法律學者流のものに比すれば其廣濶同日の論にあらざるがゆゑに今後文明の日に進歩すると共に國內國外到る處立身の工風ゑ乏ゑからず前進後進多々益其藝能を施すの餘地を見出せることならんと思はゝゝなり今より以後世に出ぐゝ身を立てんとする少壯の人々は常ゑ世情に注意して專藝の方向を誤まらざるやう心掛くること肝要おるべし

官報

○陸軍省令第九號 今般陸軍教導團各兵科生徒並ニ喇叭生徒召募條條例第三章第二條及ヒ第三條掲示ノ通取計此度ニ限リ各府縣每ニ左ノ雛形ノ通志願者連名簿ヲ製シ來ル七月十日迄ニ教導團ヘ送付シ入學願書ハ取纏メ置キ檢査官到着ノ上直ニ該官ヘ交附スベシ但陸軍教導團各兵科生徒並ニ喇叭生徒入學檢査格例及ヒ志願者心得左ノ通

明治二十年三月十五日 陸軍大臣伯爵大山巖

（雛形並ニ志願者心得ハ略ス）

○大藏省告示第二十九號

一七分利付金祿公債ニ限リ整理公債ニ交換スルヲ得キ旨客年十一月大藏省告示第百十一號ヲ以テ告示ニ及候處自今六分以上利付各種公債共所有者ノ望ニ由リ其交換ヲ請フコトヲ得

一前項ノ交換ヲ望ムモノハ其請求書ニ本證書ヲ添ヘ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ申込ムベシ

但書證書ハ當省ヨリ新證書發行ノ月迄新證書ハ其翌月ヨリ利子ヲ付スルモノトス

明治二十年三月十五日 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三十號

明治十五年（一八八二）第三十二號布告日本銀行條例第四條但書ニ據リ同銀行資本金ヲ改メテ總額二千萬圓ト爲シ更ニ五萬株ヲ增加スルコトヲ許可ス

明治二十年三月十五日 大藏大臣伯爵松方正義

○全國米商會所及株式取引所實賣高 自七月 至十二月

會所名	十九年自一月至六月實賣高	通計
東京米商會所	二、七三八、〇四〇石	五、八九二、二二〇石
大阪堂島米會所	一、三二七、三八〇	二、五九五、六六〇
米商會所	二九一、七九〇	三、九二三、〇四〇
東京穀物會所	二七四、〇七〇 現米直取引	六八四、二二〇
大阪穀物會所	九八〇、七五〇	三〇九、五四〇
米商會所	六五〇、〇七五	九九六、九五〇
桑名米商會所	三〇四、二八〇	五二七、二一〇
新潟米商會所	二五六、四〇〇	三九四、一〇〇
兵庫米商會所	二六八、八七〇	二四三、一六〇
金澤米商會所	一五三、〇五〇	四四二、一二〇
松山米商會所	一八〇、四五〇	一七六、七九〇
名古屋米會所	四三四、四〇〇	六五五、九四〇
岡山米商會所	四八、七七〇	一二八、〇二〇
德島米商會所	二九、四四〇	七三、四一〇
博多米商會所	二六三、二二〇	四五八、一七〇
堂島新米商會所	五七、六四〇	二六、五九〇
酒田米商會所	一七〇、六三〇	三六九、二三〇
合計	一二、〇五〇	四〇、七九〇
東京株式取引所	七、四六一、二三〇 現米直取引	一〇、九四四、三九〇
大阪株式取引所	九八〇	二、五〇〇
取引所名	二四四、八一四 十九年自一月至六月實賣高	一八、四四五、六二〇
株式現物直取引	三、八八〇	三、四八〇
公債現物直取引	一〇〇、九九〇〇圓	七、二九二、〇〇〇圓
株式現物直取引	二二、五八〇	一四、七四〇
公債現物直取引	三、四〇〇圓 十九年七月九日迄休業ニヨリ實賣高	七、二二一、〇〇〇圓
株式現物直取引	四八〇株	三、五六三株
公債現物直取引	一三、四三五、二〇〇圓 十九年七月十二日ヨリ實賣高	一九、五〇〇圓
株式現物直取引	二、二〇〇	四〇、〇四三株
公債現物直取引	一二、一〇二、六〇〇圓	三七、五七二、八〇〇圓
株式現物直取引	三、二五一株	五五、一九四株
公債現物直取引	三、四九九、〇〇〇圓	八、七九九、八〇〇圓
株式現物直取引	七、二八八、二〇〇	一、〇〇〇、四〇〇
公債現物直取引	四、二八五圓	五、三〇〇圓
株式現物直取引	一、二二株	二、二七二、二〇〇株
公債 十九年七月二日開業ニ付前半期ハナシ	一、七五一、一〇〇圓	五、八一五圓
株式	一、五〇〇株	一、〇〇〇株
現物取引	六八一株	五五、二一〇株
公債現物取引	二六、九七四、五〇〇圓	五三、四六五、五〇〇圓
株式現物取引	二八八、四四〇株	一〇〇、九一一株
合計	二五二、八三八	五六七、九八三
株式	一六一	一〇七
公債	二六、四八五、八〇〇圓	五三、四六五、五〇〇圓
株式	二八八、四四〇株	一〇〇、九一一株
合計	二五二、八三八	八二〇、八二一
株式	一六一	二六八

（以上本年三月十二日十五日官報）

雜報

○大坂府下阿片製造人の增加 大坂府下島上島下の兩郡の古來阿片を製出する土地おるが明治初年の頃い兩郡にて之を製造する者百人內外なりしに其後年々石油の需用增加するに隨ひ種油の掛け方惡くなり榮種い追々お下落して不引合となるより從來榮種を植付けし田地へい大抵芥子を蒔き付けて阿片と製造する事となり明治十年に至りてい之に從事もる者二三百人の多きに及び爾來益々增加して內務省の免許と得たる製造人い目下千五六百人もあり年々製出する阿片い一千貫目內外おゑ及びたる由なるが右阿片は大抵一反歩の收穫二百目位ゆり百目一斤に付代價は十二三圓位おるを之と當地に積出して道修町の藥種商へ直賣ゑをおし來ゞしが元來阿片い劇藥おるを以て明治八年頃より大坂府廳へ買上ゆ中ノ島なる內務省衞生局試驗所に於て之れと精製し然る後藥種商へ賣下ぐる事となり素人賣買は禁じたれど右兩郡にて製出する阿片は年々斯く多額の收入あるを以て今後尙ゞ益々製造人の增加する見込おりといふと去る十日の大坂日報ゑ見へたり

○岡村氏夫妻 曾く三田慶應義塾にて英學を修業したる岡村竹四郎氏い去る明治十四年中より石版印刷の業を始め目下京橋區にて專ら着色石版ラヽ氏の聖像製造し同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日石版摺を仕上げ宝政子女史い夙に勸めて商學を教育家に質ゑ學び其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と四郎氏に告ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以

○陸軍省令第九號 今般陸軍教導團各兵科生徒並ニ喇叭生徒召募條條例第三章第二條及ヒ第三條掲示ノ通取計此度ニ限リ各府縣每ニ左ノ雛形ノ通志願者連名簿ヲ製シ來ル七月十日迄ニ教導團ヘ送付シ入學願書ハ取纏メ置キ檢査官到着ノ上直ニ該官ヘ交附スベシ但陸軍教導團各兵科生徒並ニ喇叭生徒入學檢査格例及ヒ志願者心得左ノ通

明治二十年三月十五日 陸軍大臣伯爵大山巖

（雛形並ニ志願者心得ハ略ス）

○大藏省告示第二十九號

一七分利付金祿公債ニ限リ整理公債ニ交換スルヲ得キ旨客年十一月大藏省告示第百十一號ヲ以テ告示ニ及候處自今六分以上利付各種公債共所有者ノ望ニ由リ其交換ヲ請フコトヲ得

一前項ノ交換ヲ望ムモノハ其請求書ニ本證書ヲ添ヘ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ申込ムベシ

但書證書ハ當省ヨリ新證書發行ノ月迄新證書ハ其翌月ヨリ利子ヲ付スルモノトス

明治二十年三月十五日 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三十號

明治十五年（一八八二）第三十二號布告日本銀行條例第四條但書ニ據リ同銀行資本金ヲ改メテ總額二千萬圓ト爲シ更ニ五萬株ヲ增加スルコトヲ許可ス

明治二十年三月十五日 大藏大臣伯爵松方正義

○全國米商會所及株式取引所實賣高 自一月 至六月

會所名	十九年自一月至六月實賣高	通計
東京米商會所	二、七三八、〇四〇石	五、八九二、二二〇石
大阪堂島米會所	一、三二七、三八〇	二、五九五、六六〇
米商會所	二九一、七九〇	三、九二三、〇四〇
東京穀物會所	二七四、〇七〇 現米直取引	六八四、二二〇
大阪穀物會所	九八〇、七五〇	三〇九、五四〇
米商會所	六五〇、〇七五	九九六、九五〇
桑名米商會所	三〇四、二八〇	五二七、二一〇
新潟米商會所	二五六、四〇〇	三九四、一〇〇
兵庫米商會所	二六八、八七〇	二四三、一六〇
金澤米商會所	一五三、〇五〇	四四二、一二〇
松山米商會所	一八〇、四五〇	一七六、七九〇
名古屋米會所	四三四、四〇〇	六五五、九四〇
岡山米商會所	四八、七七〇	一二八、〇二〇
德島米商會所	二九、四四〇	七三、四一〇
博多米商會所	二六三、二二〇	四五八、一七〇
堂島新米商會所	五七、六四〇	二六、五九〇
酒田米商會所	一七〇、六三〇	三六九、二三〇
合計	一二、〇五〇	四〇、七九〇
東京株式取引所	七、四六一、二三〇 現米直取引	一〇、九四四、三九〇
大阪株式取引所	九八〇	二、五〇〇
取引所名	二四四、八一四 十九年自一月至六月實賣高	一八、四四五、六二〇
株式現物直取引	三、八八〇	三、四八〇
公債現物直取引	一〇〇、九九〇〇圓	七、二九二、〇〇〇圓
株式現物直取引	二二、五八〇	一四、七四〇
公債現物直取引	三、四〇〇圓 十九年七月九日迄休業ニヨリ實賣高	七、二二一、〇〇〇圓
株式現物直取引	四八〇株	三、五六三株
公債現物直取引	一三、四三五、二〇〇圓 十九年七月十二日ヨリ實賣高	一九、五〇〇圓
株式現物直取引	二、二〇〇	四〇、〇四三株
公債現物直取引	一二、一〇二、六〇〇圓	三七、五七二、八〇〇圓
株式現物直取引	三、二五一株	五五、一九四株
公債現物直取引	三、四九九、〇〇〇圓	八、七九九、八〇〇圓
株式現物直取引	七、二八八、二〇〇	一、〇〇〇、四〇〇
公債現物直取引	四、二八五圓	五、三〇〇圓
株式現物直取引	一、二二株	二、二七二、二〇〇株
公債 十九年七月二日開業ニ付前半期ハナシ	一、七五一、一〇〇圓	五、八一五圓
株式	一、五〇〇株	一、〇〇〇株
現物取引	六八一株	五五、二一〇株
公債現物取引	二六、九七四、五〇〇圓	五三、四六五、五〇〇圓
株式現物取引	二八八、四四〇株	一〇〇、九一一株
合計	二五二、八三八	八二〇、八二一
株式	一六一	二六八

（以上本年三月十二日十五日官報）

雜報

○大坂府下阿片製造人の增加 大坂府下島上島下の兩郡の古來阿片を製出する土地おるが明治初年の頃い兩郡にて之を製造する者百人內外なりしに其後年々石油の需用增加するに隨ひ種油の掛け方惡くなり榮種い追々お下落して不引合となるより從來榮種を植付けし田地へい大抵芥子を蒔き付けて阿片と製造する事となり明治十年に至りてい之に從事もる者二三百人の多きに及び爾來益々增加して內務省の免許と得たる製造人い目下千五六百人もあり年々製出する阿片い一千貫目內外おゑ及びたる由なるが右阿片は大抵一反歩の收穫二百目位ゆり百目一斤に付代價は十二三圓位おるを之と當地に積出して道修町の藥種商へ直賣ゑをおし來ゞしが元來阿片い劇藥おるを以て明治八年頃より大坂府廳へ買上ゆ中ノ島なる內務省衞生局試驗所に於て之れと精製し然る後藥種商へ賣下ぐる事となり素人賣買は禁じたれど右兩郡にて製出する阿片は年々斯く多額の收入あるを以て今後尙ゞ益々製造人の增加する見込おりといふと去る十日の大坂日報ゑ見へたり

○岡村氏夫妻 曾く三田慶應義塾にて英學を修業したる岡村竹四郎氏い去る明治十四年中より石版印刷の業を始め目下京橋區にて專ら着色石版ラヽ氏の聖像製造し同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日石版摺を仕上げ宝政子女史い夙に勸めて商學を教育家に質ゑ學び其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以

○私立英學校新設 今般陸軍教導團各兵科生徒並ニ喇叭生徒召募條條例第三章第二條及ヒ第三條掲示ノ通取計此度ニ限リ各府縣每ニ左ノ雛形ノ通志願者連名簿ヲ製シ來ル七月十日迄ニ教導團ヘ送付シ入學願書ハ取纏メ置キ檢査官到着ノ上直ニ該官ヘ交附スベシ但陸軍教導團各兵科生徒並ニ喇叭生徒入學檢査格例及ヒ志願者心得左ノ通

明治二十年三月十五日 陸軍大臣伯爵大山巖

（雛形並ニ志願者心得ハ略ス）

○大藏省告示第二十九號

一七分利付金祿公債ニ限リ整理公債ニ交換スルヲ得キ旨客年十一月大藏省告示第百十一號ヲ以テ告示ニ及候處自今六分以上利付各種公債共所有者ノ望ニ由リ其交換ヲ請フコトヲ得

一前項ノ交換ヲ望ムモノハ其請求書ニ本證書ヲ添ヘ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ申込ムベシ

但書證書ハ當省ヨリ新證書發行ノ月迄新證書ハ其翌月ヨリ利子ヲ付スルモノトス

明治二十年三月十五日 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三十號

明治十五年（一八八二）第三十二號布告日本銀行條例第四條但書ニ據リ同銀行資本金ヲ改メテ總額二千萬圓ト爲シ更ニ五萬株ヲ增加スルコトヲ許可ス

明治二十年三月十五日 大藏大臣伯爵松方正義

○全國米商會所及株式取引所實賣高 自一月 至六月

會所名	十九年自一月至六月實賣高	通計
東京米商會所	二、七三八、〇四〇石	五、八九二、二二〇石
大阪堂島米會所	一、三二七、三八〇	二、五九五、六六〇
米商會所	二九一、七九〇	三、九二三、〇四〇
東京穀物會所	二七四、〇七〇 現米直取引	六八四、二二〇
大阪穀物會所	九八〇、七五〇	三〇九、五四〇
米商會所	六五〇、〇七五	九九六、九五〇
桑名米商會所	三〇四、二八〇	五二七、二一〇
新潟米商會所	二五六、四〇〇	三九四、一〇〇
兵庫米商會所	二六八、八七〇	二四三、一六〇
金澤米商會所	一五三、〇五〇	四四二、一二〇
松山米商會所	一八〇、四五〇	一七六、七九〇
名古屋米會所	四三四、四〇〇	六五五、九四〇
岡山米商會所	四八、七七〇	一二八、〇二〇
德島米商會所	二九、四四〇	七三、四一〇
博多米商會所	二六三、二二〇	四五八、一七〇
堂島新米商會所	五七、六四〇	二六、五九〇
酒田米商會所	一七〇、六三〇	三六九、二三〇
合計	一二、〇五〇	四〇、七九〇
東京株式取引所	七、四六一、二三〇 現米直取引	一〇、九四四、三九〇
大阪株式取引所	九八〇	二、五〇〇
取引所名	二四四、八一四 十九年自一月至六月實賣高	一八、四四五、六二〇
株式現物直取引	三、八八〇	三、四八〇
公債現物直取引	一〇〇、九九〇〇圓	七、二九二、〇〇〇圓
株式現物直取引	二二、五八〇	一四、七四〇
公債現物直取引	三、四〇〇圓 十九年七月九日迄休業ニヨリ實賣高	七、二二一、〇〇〇圓
株式現物直取引	四八〇株	三、五六三株
公債現物直取引	一三、四三五、二〇〇圓 十九年七月十二日ヨリ實賣高	一九、五〇〇圓
株式現物直取引	二、二〇〇	四〇、〇四三株
公債現物直取引	一二、一〇二、六〇〇圓	三七、五七二、八〇〇圓
株式現物直取引	三、二五一株	五五、一九四株
公債現物直取引	三、四九九、〇〇〇圓	八、七九九、八〇〇圓
株式現物直取引	七、二八八、二〇〇	一、〇〇〇、四〇〇
公債現物直取引	四、二八五圓	五、三〇〇圓
株式現物直取引	一、二二株	二、二七二、二〇〇株
公債 十九年七月二日開業ニ付前半期ハナシ	一、七五一、一〇〇圓	五、八一五圓
株式	一、五〇〇株	一、〇〇〇株
現物取引	六八一株	五五、二一〇株
公債現物取引	二六、九七四、五〇〇圓	五三、四六五、五〇〇圓
株式現物取引	二八八、四四〇株	一〇〇、九一一株
合計	二五二、八三八	八二〇、八二一
株式	一六一	二六八

（以上本年三月十二日十五日官報）

雜報

○大坂府下阿片製造人の增加 大坂府下島上島下の兩郡の古來阿片を製出する土地おるが明治初年の頃い兩郡にて之を製造する者百人內外なりしに其後年々石油の需用增加するに隨ひ種油の掛け方惡くなり榮種い追々お下落して不引合となるより從來榮種を植付けし田地へい大抵芥子を蒔き付けて阿片と製造する事となり明治十年に至りてい之に從事もる者二三百人の多きに及び爾來益々增加して內務省の免許と得たる製造人い目下千五六百人もあり年々製出する阿片い一千貫目內外おゑ及びたる由なるが右阿片は大抵一反歩の收穫二百目位ゆり百目一斤に付代價は十二三圓位おるを之と當地に積出して道修町の藥種商へ直賣ゑをおし來ゞしが元來阿片い劇藥おるを以て明治八年頃より大坂府廳へ買上ゆ中ノ島なる內務省衞生局試驗所に於て之れと精製し然る後藥種商へ賣下ぐる事となり素人賣買は禁じたれど右兩郡にて製出する阿片は年々斯く多額の收入あるを以て今後尙ゞ益々製造人の增加する見込おりといふと去る十日の大坂日報ゑ見へたり

○岡村氏夫妻 曾く三田慶應義塾にて英學を修業したる岡村竹四郎氏い去る明治十四年中より石版印刷の業を始め目下京橋區にて專ら着色石版ラヽ氏の聖像製造し同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日石版摺を仕上げ宝政子女史い夙に勸めて商學を教育家に質ゑ學び其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以て今度日本橋區に相勉め相勉め同氏は印刷一枚ゆり其後內外共に上達し去る十日賭數ゑ述し之を竹四郎氏に告ゞ資本金ゞ第一號と後諸方の學校にて縣下小學校教科用以

○長壽の統計 某は百歲の壽を保ゞ見るに五十二人の餘に過し他い殆ど拾六人は女にゑて婦人に長命おるゑ如し而して危險を冒すゑ故ゑして此三拾人が故ゑして此三拾人るものなり又此內六人に就て結婚せるもの八人て結婚せるもの八人二人い長男と生れ長男は軟弱おりと角斯く長壽を保酒風症（ゴート）使するゑとも要せ齒の抜け落ちて一四人ゆるのみおると存する割合ゑしると厚起もる事部

○人造井の最も大オーガスチンに放（一インチは殆んど萬出ること七百萬界中最も大おるも